



第②類医薬品

頭痛薬(鎮痛剤)

⚠ 使用上の注意

⊗ **してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1 次の人は服用しないで下さい

- ①本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- ②本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい

(眠気等があらわれることがある。)

4 服用前後は飲酒しないで下さい

5 長期連用しないで下さい

必ずお守り下さい



相談すること

1 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

- ①医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- ②妊婦又は妊娠していると思われる人。
- ③高齢者。
- ④薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- ⑤次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
※ 薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

眠気

4 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

用法・用量

なるべく空腹時をさけて服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年齢	1回量	服用回数
成人 15歳以上	3錠	1日3回を限度
11歳以上15歳未満	2錠	
11歳未満	服用しないで下さい	

〈用法及び用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

効能・効果

- 1 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 2 悪寒・発熱時の解熱



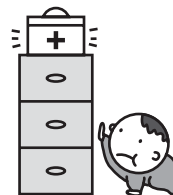
成分・分量

成分	成人1日最大量(9錠)中
プロモバレリル尿素	200mg
アセトアミノフェン	900mg
カフェイン水和物	200mg

添加物として炭酸Mg、リン酸水素Ca水和物、セルロース、バレイシヨデンブ、l-メントール、d-ボルネオール、タルク、ステアリン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- 1 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- 2 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- 3 他の容器に入れ替えないで下さい(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- 4 水に濡れた手でさわらない等、水分に注意し、よくフタを閉め保管して下さい。
- 5 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。



本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。
明治薬品株式会社お客様相談室
電話：☎0120-53-3451
受付時間：9:00~17:00(土、日、祝日、特定休日を除く)

副作用被害救済制度
☎ 0120-149-931